

令和元年度 東部地区幼・保・小連携推進協議会 実施報告

- 1 期 日 令和元年7月29日（月）
- 2 会 場 市民プラザかぞ
- 3 目 的

東部管内において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校及び義務教育学校（前期課程）の教職員による研究協議会等を実施することにより、異校種の教育への理解促進及び異校種との連携意識の高揚を図り、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続につなげる。

4 内 容

（1）全体会【実践発表及び講演】

①【実践発表】久喜市（久喜市教育委員会・久喜市立栗橋幼稚園・久喜市立中央幼稚園）

②【講 演】『「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた幼保小接続』

草加市立長栄小学校 校長 嶋田 弘之 様

（2）分科会【研究協議】

「幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続につなげるためには」

①幼児と児童及び異校種の教職員同士の交流活動

②「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとした幼児・児童理解

③幼児期の教育と小学校教育の接続を見通した教育課程の編成及び工夫・改善

5 参加者

所属	出席者数
小学校	100名
公立幼稚園	23名
私立幼稚園	7名
公立保育所	38名
私立保育所	22名
認定こども園	7名
東部管内各市町教育委員会	16名
合計	213名



全体会 講演

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた幼保小接続

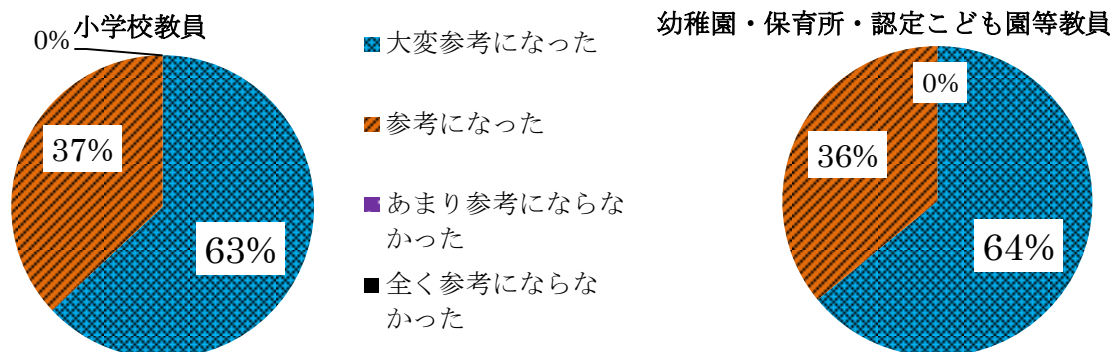


分科会

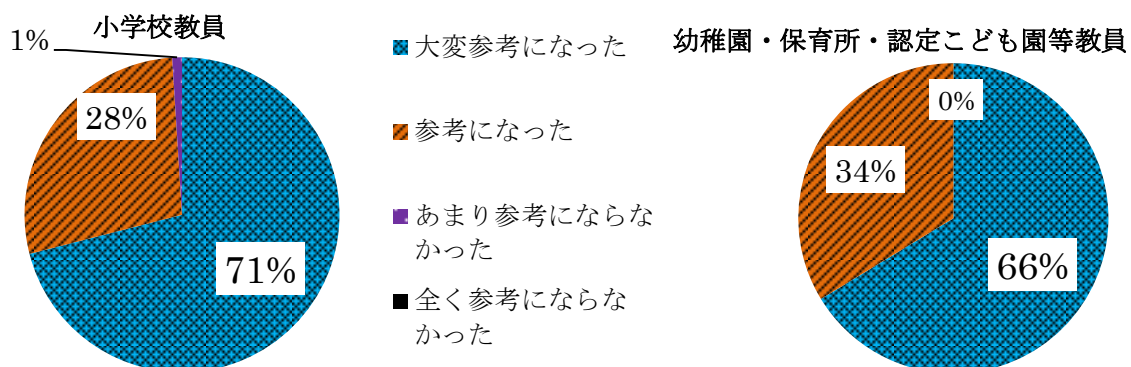
幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続について協議

6 参会者の感想から

1 本研究協議会の全体会は参考になりましたか 回答数186名 【校種別回答集計】(%)



2 分科会は参考になりましたか



○全体会について

- ・国や県が出している方針や10の姿について具体的な例も含めて知ることができた。これからの校内の1年生の指導やスタートカリキュラムの見直しの参考にしていきたい。
- ・久喜市の具体的な実践例から、アプローチカリキュラムの意義を再確認できた。
- ・実際の保育現場でのカリキュラムが、小学校のどの部分につながるのかイメージすることができた。段差を乗り越える力の育成ができるよう、小学校との連携を密にしていきたい。

○分科会について

- ・保育園や幼稚園の先生方の願いや思いを知ることができた。「1年生になる子供達はいろいろなことができるので、何でも任せてほしい。」との意見が心に響いた。
- ・他市や異なる校種の方々の取組や思いを聞く機会がなかったので貴重な時間だった。
- ・小学校の先生に、幼稚園の子供達の育ちなどを伝える良い機会となった。

○運営等について要望等

- ・幼稚園や保育所の先生方との協議が貴重であった。いただいた他校や園の資料を参考に、スタートカリキュラムを見直していきたい。
- ・ステップ3の地域や進んだ取組のある市の実践発表を聞いてみたい。
- ・意見交換の場をもっと長く設定してほしい。他市町の取組を知ることは大変有意義だった。